

2008年3月4日
東日本旅客鉄道株式会社
ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社
ジェイアールバス関東株式会社

バイオディーゼル燃料の実証実験

JR東日本、ジェイアール東日本コンサルタンツとジェイアールバス関東は、JR東日本グループのホテルから排出された廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料の実証実験を行います。

バイオディーゼル燃料は、従来の化石燃料と異なり、二酸化炭素の削減や大気汚染物質の低減につながると言われており、本実験は、JR東日本グループの環境への取り組みの一環として行うものです。

東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長 清野 智）、ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社（代表取締役社長 田中 正典）及びジェイアールバス関東株式会社（代表取締役社長 東海林 保）は、環境への取り組みの一環として、白河市循環バス（福島県）を利用して、「バイオディーゼル燃料の実証実験」を3月5日（水）より実施いたします。

【実験概要】

- (1) 日時
2008年3月5日（水）から2週間程度
- (2) 場所
福島県白河市内
- (3) 実験行路
白河市循環バス（新白河駅先回り 平日のみ運行）



【一般的な廃食用油の取り扱い】



廃食用油排出



- ・産業廃棄物処理
- ・飼料・肥料・石鹼・塗料等
にリサイクル

【今回の実験】

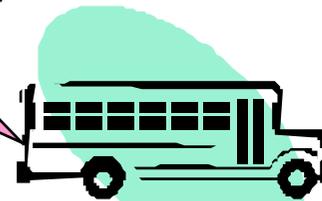


ホテルメトロポリタン(池袋)

・廃食用油のリサイクル
・CO2削減・化石燃料使用抑制の取り組み
として実証実験



廃食用油を原料としてバイオディーゼル燃料を精製し、従来の軽油の代わりに使用



ジェイアールバス関東(株)
(白河市循環バス)